

- 名称：株式会社 藤崎事務所
- 代表取締役：藤崎 健吉
- 設立年月日：平成元年 10月20日
- 現住所：〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-34赤坂リキマンション37号
- 電話番号：TEL 03-5549-2461 FAX 03-5549-2467
- スタッフ数：5名

<主な参画プロジェクト>

■都市開発／コンサルティング業務

- ・建設省東京外郭環状道路供用キャンペーン('92)
- ・建設省伊豆半島洪滞体質改善キャンペーン('96)
- ・国土交通省首都国道工事事務所「パワーオブロード」('00～) 実行委員会
- ・中部電力広報施設 中長期構想立案
- ・2005年日本国際博覧会「食と農」に関わる関係施設等('01) 建設・整備実行課題基礎調査
- ・昭和飛行機工業(株)「昭和の森」('03～'04) タウンアイデンティティ立案及びコンサル業務
- ・国土交通省ITS推進室('03) ETCを活用した新たなカーライフの創生
- ・昭和飛行機工業(株)「昭和の森」第2期開発ビジョン('06～) 「草かんむりの街づくり」プロジェクトマネジメント、コンセプト立案
- ・セントレジャー・マネジメント('06～'08) 事業コンサルティング業務
- ・三井不動産 柏の葉キャンパスシティプロジェクト('07～) 街区コンセプト立案及び環境配慮に関するコンサル業務
- ・柏の葉フューチャービレッジ('08) 全体取りまとめ
- ・大阪駅北地区先行開発区域Bブロック/
ナレッジ・キャピタル中核施設 CAC('09～'10) プランニング、事業計画取りまとめ
- ・ソーラーデカスロン マドリード2012('11～) 広報・プロモーション活動 於：千葉大学
- ・環境省エコチル調査千葉ユニットセンター('10～) 広報プロモーション
- ・柏の葉街エコ推進協議会編「かしわ街エコ読本」('11～'12) 企画・編集・執筆 (日本語版/英語版/中国語版) 他多数

■CI・ネーミング開発/空間メディア開発コンセプト立案等

- ・株式会社ロフテー 睡眠文化ギャラリーα('89) 総合プロデュース/コンセプト立案
- ・お米ギャラリー銀座('90) 総合ディレクション/コンセプト立案
- ・出光エナジーボックス('92) 総合プロデュース/コンセプト立案
- ・東京ガス環境月間特別催事('96～99) 総合プロデュース/コンセプト立案
- ・NTT東日本 東北研究開発センタ('99) 総合ディレクション/コンセプト立案
- ・銀座紀州備長炭ショッパ「掌」('99) プロデュース/コンセプト立案
- ・レディタン・ザ・トキ(仏レストラン) 東京銀座('03) プロデュース
- ・GINZA TANAGOKORO リニューアル('08) コンセプト立案 他多数

■博物館・文化施設

- ・ならシルクロード記念館('90) 展示ディレクション
- ・熊本県 水俣環境センター('93) 展示ディレクション
- ・東京都健康プラザ ハイジアヘルスマuseum('93～'96) 総合プロデュース/運営コンサルティング
- ・科学技術館「建設展示室」('94) 展示ディレクション
- ・科学技術館「アトモス原子力展示室」('94～'99) 展示ディレクション/制作監修
- ・山梨県環境学習センター('96) 展示ディレクション
- ・埼玉県生活科学センター 展示ディレクション
- ・地球市民かながわプラザ「子どもの国際理解展示室」('98) 展示ディレクション
- ・名古屋都市センター('98) 展示ディレクション
- ・徳島県こども科学館「生命と環境展示室」('98) 展示ディレクション
- ・筑後川風倒木監視センター展示室('99) 展示ディレクション
- ・日本新聞博物館「現代ゾーン」('00) 展示ディレクション
- ・鳥取県二十世紀梨記念館('00) 展示ディレクション/記念出版物プロデュース
- ・日本科学未来館「ゲノム展示ゾーン」('01) 展示ディレクション
- ・国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館('03) 展示ディレクション
- ・但馬国府国分寺博物館('04) 展示アドバイザー 他多数

藤崎 健吉 (ふじさき けんきち) プロフィール

プランナー/NPO法人LOHAS CLUB スーパーバイザー / (財)有機資源協会公認バイオマスタウンアドバイザー
 昭和34年生まれ。昭和58年東京農業大学農学部卒業。大学卒業1年後に廣済堂出版より「科学なるほど読本」を出版。
 以後、プランナーとして、各種催事や文化施設のコンセプト立案や企画制作、商品やブランド開発等に携わる。
 得意分野は「食と農」「健康と環境」にかかわるコミュニケーションの「装置・しくみ・しかけ」をつくること。
 09年、10月50歳を目前に、千葉大学医学部大学院博士課程に入学。事業の活動の傍ら、環境健康科学・環境生命医学
 分野の研究に取り組んでいる。著書に「日本をLOHASに変える30の方法」(講談社/06年1月共著)「LOHASの教科書」
 (明治図書/07年5月共著)。

■自主事業

- ・C02削減見える化プロジェクト 環境省委託事業 ('08)
- ・「はじめての土いじり」体験農業 柏の葉キャンパスシティでの居住者を対象とした会員制コミュニティ ('08～)
- ・かしはなプロジェクト 千葉県持続可能な街づくり担い手育成事業 委託事業者 ('09～)
- ・八百屋カフェ 環境・農業ネットワーク型マイクロビジネス 東京都元赤坂店オープン ('09.7～) 他多数

■博覧会・大型イベント

- ・EXPO'90国際花と緑の博覧会 日本政府苑 政府出展ディレクター
- ・グリーンフェアいばらき('93) 催事委員
- ・ROBODEX2000 総合プロデュース
- ・しずおか国際園芸博覧会「浜名湖花博」テーマ館 ('04) 総合プロデュース
- ・しずおか国際園芸博覧会「浜名湖花博」浜名湖館 ('04) 総合プロデュース
- ・しずおか国際園芸博覧会「浜名湖花博」
イタリア トスカーナ州国際出展庭園 ('04) 総合プロデュース
- ・読売新聞130周年記念事業
「イタリア・フェスティバルin東京ドーム」 ('05) 総合プロデュース
- ・2005年日本国際博覧会「愛知万博」
ヨルダン王国パビリオン('05) 総合プロデュース
- ・2005年日本国際博覧会「愛知万博」環境省出展('05) 展示アドバイザー 他多数

■講演等

- ・和歌山県高野口町役場及び商工会「LOHASなまちづくり」フォーラム ('05)
- ・名古屋市公会堂 安江工務店主催の安全大会「LOHASなりフォーム」150名 ('05)
- ・UFJ総合研究所「LOHASビジネスの今後」 ('05)
- ・JUNEC国際フォーラム「持続可能な開発へ向けた青少年会議」於：国際連合大学 ('06)
- ・足立区団塊世代地域回帰推進事業「食から始めるLOHASライフ」 ('06)
- ・岐阜県「飛騨・美濃農林畜水産物生産・加工・市場連携会議」「食と農、地域と世界をLOHASで結ぶ」 ('06)
- ・静岡文化芸術大学「サステナブルデザイン研究会」 ('06)
- ・経絡治療学会夏期大学「代替医療とLOHAS」於：全電通ホール600名 ('06)
- ・静岡銀行浜松営業部「静友懇話会例会」「LOHAS講座」 ('06)
- ・INAX LOHASと水の関わり 本社/新宿/横浜 ('06)
- ・ニチレイ CSR大会「食と農をLOHASで結ぶ」 於：全日空ホテル 700名 ('06)
- ・広島短期大学オープンキャンパス「LOHAS講座」150名 ('06)
- ・日本青年会議所 東京本部 理想国家創造会議「LOHAS概論～食育を中心に」 ('07)
- ・会津商工会議所 ('07)
- ・茨城JA「LOHASと食」 ('08.8)
- ・JFMAフォーラム パネルディスカッション ('09.4)
- ・共同通信社 きさらぎ会「農的体験を都市の中へ」 ('09.5)
- ・千葉大学 カレッジリンクプログラム「五感で楽しむ農」 ('09.6)
- ・銀座農業環境フォーラム パネルディスカッション ('09.7)
- ・銀座農業環境フォーラム「都市から農業」 ('09.10)
- ・銀座農業環境フォーラム「都市からの農業発信の可能性」 ('12.2)
- ・都市から農業16歳の仕事塾「日本を農業で元気にしよう」 於：明大中野高校 ('10.7)
- ・「旬ってなに」玉川区民講座 ～畑から食卓へ～旬を味わう食を考える ('12.2) 他多数

八百屋カフェ

環境・農業ネットワーク型マイクロビジネス 2009年～

- 2009年7月8日、東京都港区元赤坂で、環境・農業ネットワーク型のお弁当屋さんをオープンしました。首都圏でいっしょけんめい頑張っている生産者の方々が作った、新鮮野菜、お米、お味噌などを主役とした、おいしいお弁当をお届けします。
- 揚げ物は使わずに、野菜が主体のお弁当だから、生活習慣病予防にも最適。しかもお弁当の購入を通して、首都圏の生産者を応援することができます。
- 石油製品はできるだけ使わず、さらにマイ箸・マイカップ・ノーバック・キャンペンなどを通じて、環境に配慮したビジネスマンの暮らしを応援する、新しいタイプのコミュニティ・ネットワーク型のマイクロビジネスをめざしています。



コンセプト

1. 使われる食材の8割は、地域で採れる「旬のとびきり野菜」が主役です。
2. 自然農法や有機栽培、農薬を低減した特別栽培の野菜、お米が中心です。
3. 昼は野菜と穀物中心のおかずで、知らず知らずのうちに、カラダすっきり!?
4. からだを暖める食物、冷ます食物のバランスを考えたメニュー構成。
5. 石油由来の製品は極力使用せず、環境に配慮した経営にこだわります。

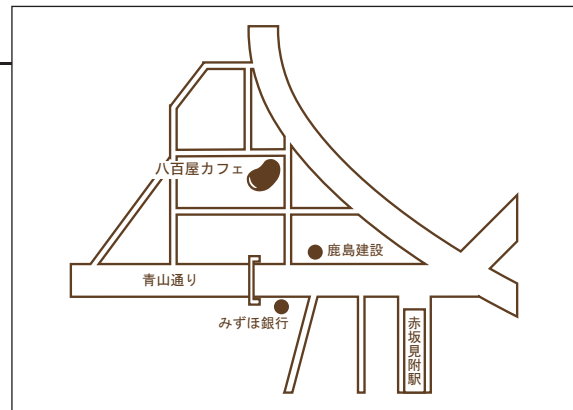


アクセス

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-5元赤坂SFビル1F

TEL:03-6682-4174 FAX:03-5549-2467

URL:www.yaoya-cafe.org MAIL:yaoya-cafe@fujifuji.org



「はじめての土いじりクラブ」

体験農業 柏の葉キャンパスシティでの居住者を対象とした会員性コミュニティ 2008年～

- 暮らしの中に「小さな農」ととり入れるだけで、身近な環境や食のことがリアルに実感できるようになります。食や農のスペシャリストを迎えて、みんなで小さな畑&ガーデンをつくります。

主な活動

・柏の葉フューチャービレッジ内の100㎡ほどの小さな菜園と庭を舞台に、野菜や果樹、樹木やハーブなどを育てるプログラム

- ①畑作業ワークショップ
- ②畑観察&料理ワークショップ
- ③ガーデンワークショップ



「かし＊はなプロジェクト」

千葉県持続可能な国際都市づくりのための新たな担い手育成支援事業 2009年～

- 千葉県柏市の柏の葉キャンパス駅西口ロータリーを花や緑をたくさん植えて、街を美しく彩るプロジェクトです。
- 千葉大の先生や専門家の指導で園芸の基本を学びながら、みんなで育てる駅前ガーデン。野菜やハーブなどは育てた仲間収穫することも可能です。

フラワータワー

・高さ1.5～2メートルの立体花壇システムを活用したアイキャッチ性の高い立体花壇

壁面ガーデンファーム

・ブロック型のプランター。野菜やハーブ等を育てるプロジェクトです。出来上がった野菜やハーブなどは、参加者で分け合います。

道のガーデン

・じゃかごの上に砂漠緑化用の土壌を敷き、植物を育てます。既存植栽部分も合わせると、約100mの花と緑のじゅうたんになっています。

レイズドベッド工房

・千葉大学の先生の指導のもと、お年寄りやお子さん、車いすの方でも園芸が楽しめるレイズドベッドをみんなで完成させます。園芸療法の効果を実感するワークショップです。



柏の葉フューチャービレッジ

全体とりまとめ 2008年

●柏の葉フューチャービレッジは、ワークライフバランスの新しいかたちを模索し、時代が求める近未来型都市生活の価値を創造する拠点として、2008年8月に三井不動産株式会社がオープンした施設です。ソーラーパネル14kwによる創エネ、ソーラーコレクターや断熱性の高い建材の使用、緑のデザイン等により、同等の施設に比べ、約50%のCO2削減を実現しています。



まちのクラブハウス

●地域のNPOや関係団体がミーティングやワークショップ、市民活動などに利用しています。ポリカーボネイト製の外壁材は自然光を約4割透過するため、日中は室内照明がいらぬほどです。

●カウンターにはソーラーパネルから直接、直流電源が配され、晴れている日には使用可能なパソコンやデスクライトなどが配置されています。



キッチン会議室

●「食」と「職」を隣接させることで、より肯定的なコミュニケーションや創造性の高いミーティングが実現すると、研究結果から実現したキッチン付の会議室です。コンセプト立案や設計時の打ち合わせの中で、藤崎事務所のキッチン会議室をモデルに、とのお要望から非常に似た仕様・構成となっています。弊社のキッチン会議室より明るくて素敵な仕上がりに。



エディブルガーデン&菜園

●約100㎡の小さな菜園は「はじめての土いじり」という市民のためのクラブ活動の場です。畑仕事を体験しながら、採れた野菜で料理を作って食べてみる。食と農を身近に感じながら、地域の食や環境についてみんなで考えるワークショップを行っています。



がん患者・家族総合支援センター

●現在医療分野で注目を浴びる「緩和ケア」の先駆け施設として誕生しました。病院や診療所のようなつくりではなく、相談に来られる方がゆったりとした気持ちになれるよう、北欧調の家具や色調、ケミレスを志向した素材を中心に施設を構成しています。

●患者さんや家族の心のケアや術後の生活指導などをカウンセリングやワークショップ等を通じて行うとともに、管をケアに関する各種情報発信を行っています。



千葉大学環境健康フィールド科学センター ケミレス・ギャラリー

プロデュース 2006年～

●ケミレスタウン・プロジェクトとは？

千葉大学大学院医学研究院森千里教授の提唱する「医学の面からみた街づくり」プロジェクトです。シックハウス症候群のような室内環境による健康障害に、ハウスメーカーや建材メーカーとともに取り組み、ホルムアルデヒドをはじめとした様々な揮発性有機化学物質を低減させた居住環境づくりの実現をめざしています。

●約400㎡の空間の中に、シックハウスやプロジェクトの概念を楽しく学べるギャラリーを、との依頼からコンセプト、展示制作を担当しました。



展示コーナー

●展示コーナーは大きくテーマゾーン、ケミレスラボ、企業ライブラリーの3つのゾーンで構成されています。

●テーマゾーンはモダンな和をイメージした障子パーテーションで緩やかに囲まれた空間の中で、映像やパネルによってケミレスやシックハウスの概要について学んでいただく空間。縦づかいの40インチ液晶パネルが掛け軸のように配置され、ハニカム構造の和紙で制作された和紙の縁台でくつろぎながら映像をご覧ください。

●ケミレスラボでは、2つの体験装置「ケミレス必要度テスト」「眼球運動チェック」を中心に展示を構成。PCによる質問に答えたり、自分自身の眼球の動きを確かめながら、シックハウスになりやすい体質かどうかをチェックすることができます。

●ギャラリー空間にはプロジェクトに参画する企業の開発した各種部材や研究成果などを棚に配置された実物展示やパソコンデータベースを通じて探ることが可能です。



「テーマゾーン」



「ケミレスラボ」



「企業ライブラリー」

LOHASアカデミー LOHASコンシェルジェ (講座／通信講座)

スーパーバイズ・講師 2005年10月-現在

- 持続可能性を考え、健康に良いライフスタイルの創造をめざすLOHAS(Lifestyles of Health and Sustainability)は、個人の生活様式だけでなく、経済活動や街づくり、社会システムにいたるまで、様々な分野での応用が可能です。
- NPO法人 LOHASクラブで2005年12月にスタートしたLOHASアカデミーは、LOHASを学びたい社会人のための専門コースです。講座のカリキュラム作成、テキスト執筆、講師として参画しています。



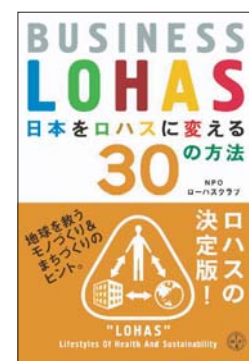
受講者は大企業のブランドマネージャー、環境NPO、大学教員、僧侶、農業生産者、主婦、サステナビリティを専攻する大学生など。日本全国から300名以上が参加。



会場は六本木ヒルズ49階「アカデミーヒルズ」

コンテンツ制作／著作

執筆、編集ディレクション 等



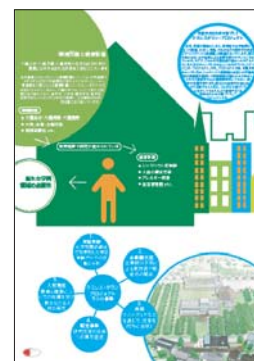
日本をLOHASに変える30の方法
2006年1月 講談社刊 (共著)



最新刊 LOHASの教科書
2007年5月 明治図書刊 (共著)



テキスト、通信コース用のDVD



千葉大学ケミレスタウンプロジェクトポスター

銀座・備長炭ショップ「掌」

総合プロデュース・商品構成・商品開発 1999-2001

- 備長炭の発祥の地である紀州みなべ川森林組合の備長炭を用いて「新しい和の暮らし」を提案する専門店を東京銀座にオープン。
- アーティストとのコラボレーションでアクセサリーやインテリアなど多彩な商品を展開。内外より高い評価をいただきました。

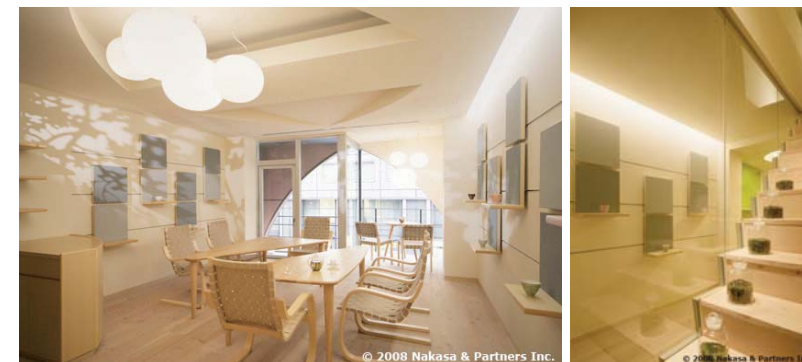


GINZA TANAGOKORO TEA ROOM / THE BAR

総合プロデュース 2008年

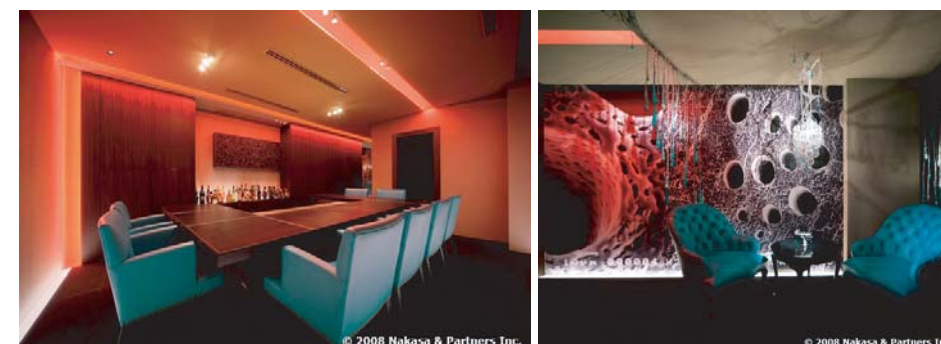
- 1999年12月に銀座に誕生した「紀州備長炭ショップ 掌(たなごころ)」が10周年を迎え、2008年6月にリニューアルオープンしました。オーナー夫妻がかねてからご希望されていた、BarとTea Roomをそれぞれ地下と3階に設けました。

TEA ROOM



・最高級の中国茶をゆったりと楽しめる至福の空間。北欧をイメージした環境配慮型のシンプルで機能的な仕つらえ。内装材には無垢材のフローリング、珪藻土を加工したケミレス仕様の左官材等を使用しています。

THE BAR



・席数わずか8席の大人のためのバー。
・備長炭のごくち面を並べた額オブジェ、ホタテの貝殻を焼成した環境配慮型左官材、革張りカウンター等、環境・健康に配慮しつつも非日常感が楽しめるユニークな仕つらえとなっています。

浜名湖花博 「庭文化創造館」「浜名湖館」

パビリオン・プロデュース 2004年

- 2004年4月8日から187日間にわたり静岡県浜松市で開催された国際園芸博覧会の協会出展、及びホストシティである浜松市の出展をトータルに手がけました。

庭文化創造館

- ・「花・緑×α」のプロが集い6つのテーマにあわせてライブで庭を創造するというパビリオン。
- ・鉄人シェフと生産者、工芸作家とフラワーアーティスト...というように様々な分野の一流のプロたちが共同作業をすることで、新たなライフスタイル作りや地場産業の活性化に寄与することを目的としています。



「花見の庭」

樹木医 塚本こなみさんが丹精込めて育てた樹齢100年の藤と歌舞伎大道具師 長谷川勘兵衛さんがつくる歌舞伎の庭舞台



「料理の庭」

鉄人シェフ石鍋裕さんが地元浜松のキャベツでつくる、「食べられる庭」



「風水の庭」

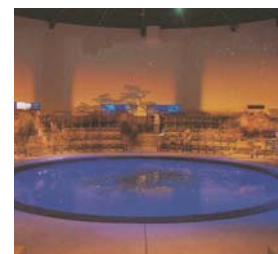


「雪見の庭」



浜名湖館

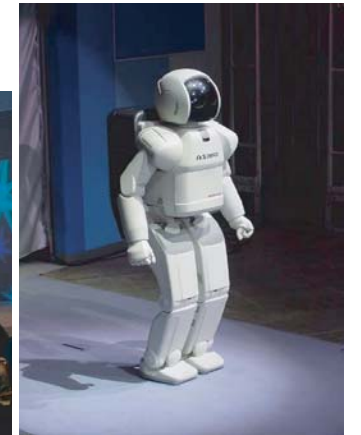
・ホストシティである浜松市のテーマは浜名湖。直径10メートルの水盤の中の水鏡に広がる、浜名湖が育んだ自然と文化を楽しむ「癒しのシアター」



ROBODEX2000

ロボットドリームエキスポ2000 横浜アリーナ 総合プロデュース 2000年

- ホンダ、ソニーの二足歩行ロボットのお披露目のために計画された大型プライベートイベントです。
- コンセプトは「来るべき未来の人とロボットの関係性のデザイン」。商品=モノとしてのロボットではなく、来館者の目線と等価に映るロボットをイメージした会場構成、演出構成に留意しました。



イタリア・フェスティバル in 東京ドーム

日伊友好協定締結50周年・読売新聞130周年記念事業演出プロデュース 2005年

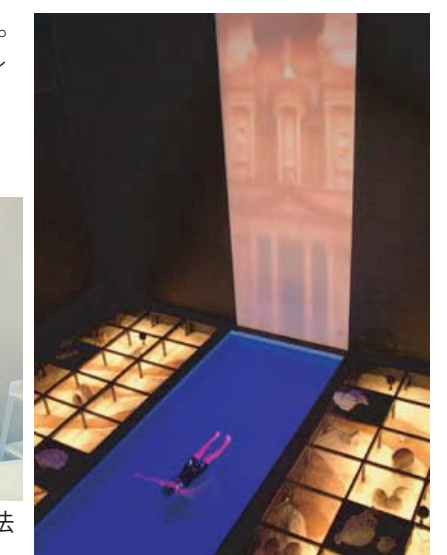
- 読売新聞130周年記念事業として実施されたものです。イタリア人の有する美意識やライフスタイルなどを、デザインやブランド、食などを通して体験できる祭典です。
- 世界的なイタリアブランドや著名デザイナーとのコラボレーション、イタリア各州の観光資源のプロモーションなどが話題を呼びました。



愛知万博ヨルダン館

アートディレクション及び館の運営プロデュース 2005年

- 「死海」は地球上でいちばん海拔が低いマイナス400メートルに位置します。「自然の叡智」をテーマとした万国博覧会において、「死海」をテーマとした環境体感展示を目指しました。



パビリオン内のプールで来館者は実際に浮かぶことが可能。また死海沿岸で民間療法として活用されてきた泥パックなどが体験できる。